

令和2年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input type="checkbox"/> 共同研究推進経費 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援経費 <input checked="" type="checkbox"/> 個人研究支援経費
プロジェクトの名称	地域イベントにおける社会的投資収益率の推計 ～北海道岩見沢市東部丘陵地域を例に～
報告者氏名・所属・職名	福原 崇之・岩見沢校 准教授
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	福原 崇之・岩見沢校 准教授
研究内容及び成果の概要	<p>本研究は、岩見沢市毛陽町にて開催される地域住民を対象とする「運動会」において、その社会的投資収益率（SROI: Social Return of Investment、以下 SROI）の推計を行うものである。SROI は以下の定義式で推計される。</p> $SROI = \frac{\text{アウトカムの定量化}}{\text{インプットの定量化}}$ <p>上記の式の結果が1を上回れば、投資した以上の社会的効果が発生したと考えられるため「やるべき事業であった」と評価される。インプットは、投入した労働の対価（標準的な時給などで評価）、物品費などであり、アウトカムは、「運動会（アウトプット）」によってステークホルダーにもたらされた変化である。アウトカムには、「運動会」に参加してステークホルダーである子供が運動を好きになった場合には、それを子供向けフィットネスクラブと同様の効果があったとみなして、その会費などを参考に活動の効果を金銭に換算する。</p> <p>SROIの特徴として、金銭的な効果だけでなく、非金銭的な効果（アウトカム）をKPI(Key Performance Index)を用いて金銭化し、評価に加える点がある。上述の例では、フィットネスクラブの会費がKPIに相当する。このことは、これまで金銭的な効果が見えず、<u>単なるコストに過ぎないと考えられていた地域における社会貢献活動が社会的にも評価されるべき活動であることを示す</u>ことができる。地域でのイベントは、このような側面を多分に持つ活動である上、国内の事例においては、同様の研究がほとんど見られず、先駆的な研究になると期待される。</p> <p>岩見沢市は、毛陽町を含む東部丘陵地域において、定住人口を増やすため、また、地域活性化を目的として地域おこし推進員にその業務を委託している。このような活動は基本的に収益を上げてはならないものが多く、金銭面で測られる経済効果で測定しても大きな効果は表れにくく、会計上も赤字となってしまう。そこで<u>彼らの活動を金銭面で評価するのではなく、社会的にどのような変化をもたらしているのかを捕捉し、非金銭的な効果（社会的効果）を含めてこれらの行う活動がどのような変化を地域や住民等のステークホルダーにもたらしているのか測定した。</u></p> <p>推計の手順は、以下の図の通りである。調査自体は終了し、SROIを推計するためのインパクトマップ作りも概ね終わっている。</p> <pre> graph LR S1["【第1ステージ】 分析スコープとステークホルダーの特定"] --> S2["【第2ステージ】 活動の成果のマッピング（インパクトマップ）"] S2 --> S3["【第3ステージ】 活動の効果の実証とその価値評価"] S3 --> S4["【第4ステージ】 活動成果（インパクト）の確認"] S4 --> S5["【第5ステージ】 SROIの算出"] S5 --> S6["【第6ステージ】 SROI分析の報告と活用ならびに組織への定着"] </pre>
成果の公表の状況	<p>【著書】 未公表</p> <p>【学術論文】 未公表</p>

教育現場で活用可能な分野・教材等

社会科分野で、地域活性化を考える際に、単なる金銭的な効果だけでなく、目に見えない社会的効果も含め総合的に考える材料となる。

配布又はダウンロード可能な資料

問合わせ先

代表者：福原 崇之

電 話：0126-32-0239

FAX :

mail : fukuhara.takayuki@i.hokkyodai.ac.jp